図書館新聞

凄い学校図書館一覧

関西編

同志社女子中学校・高等学校

蔵書数 8万7223冊
年間購入予算 400万円
席数 117席
併設施設 自習用机、グループ学習用机、会議室など
開館時間 9:00～17:45
偏差値 52

地下にある約1000㎡の広々とした明るい空間で、読書や勉強に没頭できる。専従スタッフが4人常駐。年間300時間以上の調べ学習・探究型学習を行い、図書や新聞、雑誌といった印刷資料と、データベースやインターネットといった電子資料をバランスよく利用するのを目標としている。

関西学院中学部・高等部

蔵書数 16万1651冊
年間購入予算 1256万円
席数 327席
併設施設 独習室、メディアスペース、ラーニングスペースなど
開館時間 平日8:00～17:00、土曜8:00～13:00
偏差値 56

図書はもちろん、雑誌やCD、DVDなどの資料も充実。持ち込みPCやタブレット端末のWi-Fi接続可能。契約しているデータベース等も利用することができる。年間800時間を超える授業での利用がある。約60年の伝統ある「読書科」という教科を設置しており、授業を通じて「自立した探究者の育成」を目標としている。自ら「問い」を創出し、さまざまなメディアの活用により、卒業論文を中学、高校それぞれで作成する。

奈良学園中学校・高等学校

蔵書数 5万1000冊
年間購入予算 214万円
席数 134席（自習室を含む）
併設施設 自習室
開館時間 昼休み12:40～13:20
放課後15:10～17:30
偏差値 49

生徒の意見を取り入れて校舎や図書館、サイエンス館を再建。図書館はどの教室からもアクセスしやすい校舎の中心にある。図書はiPadで検索ができ、本がどこにあるかが、すぐわかるようになっている。開放的な閲覧スペースと、集中して自習ができるキャレル室が設けられており、目的に合わせた使い分けが可能。英語の洋書を用いた多読授業は10年以上の実績があり、5000冊以上の洋書を所蔵している。

清風中学校・高等学校

蔵書数 約2万9000冊
年間購入予算 約80万円
席数 40席
併設施設 なし
開館時間 平日13:00～18:00
土曜13:00～15:00
偏差値 49

活字離れの傾向を踏まえて選書の幅を広げており、文学や科学の本に加えて、世間で話題になっている本やサブカルチャー分野の本、マンガにいたるまで取り揃えている。近年は学校として論文指導にも力を入れているため、図書館の役割は一層深まると考えている。特集コーナーの設置や「100冊読むことを目指そう!」という「百冊読書」の企画など、読書へ誘う仕掛けも行っている。

雑誌の取材を受けました！掲載誌は図書館のカウンタに置いています（プレジデントファミリー2021年秋号）

10月までの　クラス別貸出冊数と年間貸出冊数

クラス		年間冊数	クラス		年間冊数
中1A	1冊	43冊	高1A	6冊	40冊
中1B	13冊	158冊	高1B	2冊	10冊
中1C	120冊	1060冊	高1C	0冊	4冊
中1D	13冊	57冊	高1D	3冊	71冊
中2A	2冊	29冊	高1E	1冊	3冊
中2B	9冊	27冊	高1F	1冊	17冊
中2C	3冊	30冊	高2A	19冊	85冊
中2D	37冊	122冊	高2B	2冊	55冊
中3A	4冊	24冊	高2C	3冊	29冊
中3B	9冊	85冊	高2D	14冊	155冊
中3C	0冊	34冊	高2E	4冊	31冊
中3D	9冊	82冊	高2F	0冊	0冊
中3E	10冊	55冊	高3A	1冊	20冊
			高3B	9冊	27冊
			高3C	8冊	24冊
			高3D	3冊	25冊
			高3E	9冊	30冊
			先生	9冊	93冊
			合計		2525冊

後期図書委員会スタート

28日(木)に、後期図書委員会が開かれ、新しい役員が選出されました。次号にそれぞれ自己紹介などを掲載してもらおうと思います。

おすすめの本

今回紹介する本は「よけいなひと言を好かれるセリフに変える言いかえ図鑑」です。年齢とともに、余計な一言がついつい出てしまうのですが、先日も「若いのにしっかりしてるね」なんていう言い方をしてしまいました。この場合、やはり「若いのに」は余計な一言なんですね。「しっかりしてるね」だけでいいのです。

これは、よく生徒の皆さんから言われる言葉なのですが、「今週忙しいので」という言い方も、「今週は忙しいのですが、来週のこの日なら大丈夫です」という言い方に変えてみませんか?とこの本には書いています。

できない場合、行けない場合、それなりの理由を相手に伝えつつ、相手には代案を提示するということが大事ではなかろうかと思います。ぜひ読んでみてください。

図書委員のコラム

こんにちは。前期・後期と図書委員で活動しています林原です。一度入ってみたいと思い、高Ⅱから入りました。初めは何も仕事がわからず、右往左往していましたが、色々な人から仕事を教えてもらううちに、何とか仕事を覚えられるようになり、今では楽しくやらせてもらっています。

図書委員に入って良かったことは2つあります。

1つ目は文章を書くことが好きになりました。奈良学の100冊などで文章を書いているうちにもっと書きたいと思えるようになりました。

2つ目は沢山の良い本に出会えたことです。仕事をしているうちに、本に触れる回数が多くなり、それを読むことによって、少しは自分の視野が広がった気がします。

高Ⅱから図書委員に入っても、すぐに高Ⅲになってしまうので、今更、委員会で活動しなくてもいいんじゃないかと思ったこともありましたが、どんなに小さなことでも、積極的にやっていくうちに将来こんなことやってみたいなぁといったことが漠然とではありますが、見つかった気がします。なので、心の底から本気で頑張りたいと思えば、いつからでも遅くありません。それが委員会活動や文化祭、クラブを通じてあるのを証明されました。皆さんもたまには図書館に足を運んでみてはいかがですか。自分の心の奥底を変える何かが見つかるかもしれませんよ。

(高Ⅱ　林原さんより)

林原さんありがとうございました。おっしゃる通り、委員会に入る時期が遅くても、積極的に関わることで、何かの変化が生じるかもしれませんね。いろいろなことに積極的に取り組んでいる様子はいつも見させてもらっています。これからも時間が許す限り、図書委員としてがんばってくださいね！（図書館の担当　竹内より）